

令和6年度 第2回 藤沢市立大鋸小学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2024年7月9日(火) 9時30分～11時30分

場 所 藤沢市立大鋸小学校 2階 指導室

出席委員	堀河 俊介(会長・保護者) 山崎 晋治(副会長・大鋸小学校校長) 田中 舞(保護者) 大谷 美津子(村岡地区青少年育成協力会大鋸児童館長) 渋谷 幸江(藤沢東部地区主任児童委員) 平石 美和(村岡地区主任児童委員) 金澤 健二(おはようボランティア) 饗庭 寛子(村岡公民館長) 近藤 千鶴(大鋸小学校教頭) <p style="text-align: right;">以上10名(欠席者1名)</p>
次第	1 開 会 2 会長挨拶 3 議 題 (1)大鋸小学校児童の実態について (2)大鋸小学校の強みや魅力と弱みや課題について (3)その他 4 その他
協議内容	意見等 <b>*3(1)(2)大鋸小学校「児童の実態」、大鋸小学校の「強み」と「弱み」について</b> ・人懐っこい子が多い。男女の区別をせず、仲良く遊ぶ姿が見られる。 ・友だち思いの子が多い。素朴で素直、注意されたことを「はい」と聞ける子が多い。 ・学年問わず、みんなで頑張ろう、楽しもうという気運を感じる。 ・登下校時に見守りをしてくれる人が多いからか、毎日会っていない相手にも挨拶をしてくれる子が多いと感じている。 ・ここ数年、交換授業が行われるようになり、いろいろな先生が自分の子を知ってくれている安心感がある。子どもたちにとっても、いろいろな先生と関わることで、学力だけでなく、考え方とか人となりとか、学びになるのではないかと思っている。 ・大鋸の卒業生は、中学生になっても、5分前行動を継続している姿が見られる。子どもたち自身が「よい」と思ったことを、継続できていることが嬉しい。 ・学区に緑のある公園が多いこと、ゲームセンター等が近くでない立地、学校自体が通り道になっていたり、周りに「いいよ」と、言ってくれる大人が多かったり。そんな環境要因も、子どもたちの素直さや挨拶につながっているのかもしれない。 ・地域で見守りをしていると、大人でも挨拶ができない人がたくさんいる。学校では、教職員自身の挨拶も子どもたちに影響するのではと感じている。

- ・進んで挨拶ができる子もいれば、できない子もいる、こちらから言えばできる子もいる。強みと弱みは表裏一体、素直で優しく穏やかな分、「自分から」という積極性が弱かったり、心配で「〇〇をしてよいですか?」と、確認したりする傾向があるのかもしれない。
- ・弱みをプラスに考えたら、「自信がない」という一面も、「慎重に考えている」と言うことができる。弱みを弱みととらえ、直そうとせず、大鋸の子がもつ「強み」に、「もう少しここもプラスになるといいね」と、プラスアルファしていく発想がよいのではないか。
- ・それぞれの子どもたちが、自分で考えて判断できるような「生きる力」をつけていくために、学校・保護者・地域が連携して働きかけていきたい。その仕掛けを考えていきたい。
- ・改めて「多くの大人が子どもたちと関わること」が、大事だと感じた。この視点を軸に、今後の活動や具体的な取り組みを考えていきたい。

### **\*3(3) その他**

「コミスクと協働できるといいこと(案)」について

- ①プールの監視、猛暑日における見学者の見守りについて
- ②登下校時の見守りやパトロールについて
- ③不審者対策について
- ④不登校支援について

→すぐにできることと、じっくり考えて進めていかなければならないことがある。

今後も継続して、検討していく。

「コミスクのコーディネーターについて」の説明

→藤沢市として、コーディネーター(地域学校協働活動推進員)の選任を進めていく。

大鋸小では、今年度コミスクが始まったばかりのため、すぐに誰かをとということではないが、適任な方がいれば知らせてほしい。

次回開催日程 2024年 8月 22日(木) 10時00分～

場所 藤ヶ岡中学校 図書館